

霧島国際音楽祭 きりしま友の会

会報 No.4
令和3年3月発行

ごあいさつ

<未来に繋がった音楽祭>

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、第41回目の夏の音楽祭が延期されました。人々に癒しや活力を与える役割を担っている音楽の祭典をここで絶やしてはならないと、堤監督やジェスク、鹿児島県、霧島市、宿泊施設などのご努力下、冬の音楽祭として今年の1月5日から12日まで開催されました。感染防止対策を講じての大変な状況下での開催でした。関係者の皆様方には心より感謝と敬意を述べたいと存じます。私は3つのコンサートに参りましたが、どの演奏会も素晴らしい内容で、若い演奏家が中心でしたので若さ溢れるフレッシュな演奏でした。ファイナルコンサートでは、最後にドボルザークの「弦楽の為にセレナーデ」が演奏され、私は涙が止まりませんでした。感動し、心に元気が宿った、音楽の力を実感した瞬間です。第41回霧島国際音楽祭は無事に終わり、これでこの音楽祭の伝統は未来に繋がったのです。私どもはこの音楽祭の素晴らしさを霧島市民、鹿児島県民をはじめ、その他の方々に一人でも多く知って頂きたいと思います。今後も会員の皆様と一緒に霧島国際音楽祭を支えていけたら良いなと思います。



きりしま友の会
会長 中堀 清哲

<霧島国際音楽祭は地元の誇り>

40年間、霧島の夏の風物詩ともいえるイベントであった霧島国際音楽祭が、新型コロナの為に初めて中止になりました。関係者、楽しみにしていた皆様、本当にごっかりされたと思います。しかし、堤監督はじめ関係者のご努力下、第41回は1月5日から12日まで、「冬の霧島国際音楽祭」として開催して頂き、サポーターの一員としても本当にうれしく、みやまコンセールでのほぼ全ての公演を聴きに行きました。日本の超一流の演奏家による音楽は素晴らしく、ふるさと霧島市で聴ける有り難さに感動しました。

今年の第42回は、コロナ禍の中で万全の感染防止体制のもと開催されます。今年もより多くの皆様に「霧島国際音楽祭きりしま友の会」の会員になって頂き、40年以上続いてきた地元の誇りである音楽祭を盛り上げ、世界的な一流演奏家の生の音楽をお楽しみ頂きたいと思います。より多くの皆様、友の会の仲間に加わってください。よろしくお願い申し上げます。



きりしま友の会
副会長 梶島 義則

第41回霧島国際音楽祭 (2021年1月・冬の音楽祭)

新型コロナウイルス感染防止対策を講じて、史上初の「冬の音楽祭」として開催されました。さらに今回は、より多くの機会に音楽祭を楽しんでいただくために実施されたオンラインでのコンサート・霧島国際音楽祭 Channel は、全世界に配信されました。会期終了後もアーカイブとして視聴可能です。是非ご覧ください。

(霧島国際音楽祭 HP よりお進みください。)



1月11日 ファイナル・コンサート

新副会長 就任

きりしま友の会のさらなる発展を目指して、新たに2名の副会長を迎えました。音楽祭を盛り上げるためにご尽力いただきます。

〈かけがえのない音楽祭〉

全世界が今まで経験したことのない状況下、延期になっていた第41回霧島国際音楽祭が史上初、冬の音楽祭として1月5日から一週間開催されました。

コロナ禍、次々に演奏会が中止、延期になる中、待ちに待ったオープニングコンサートでは、チェロ、ヴァイオリン、バッハコレギウムの極上の音楽がみやまコンセールに響き渡ると、胸が熱くなり、ただただ涙が溢れ、今迄にない感情は忘れることが出来ません。

私は音楽祭の第5回から声楽やオペラのマスタークラスを何度か受講し、その後チェロオーケストラのソリストとして共演等、アーティストとしても色々と参加の機会を得、演奏家としても育てて頂きました。世界中の一流アーティストによる演奏会、講習会からなる、今やアジアを代表する

霧島国際音楽祭が地元、霧島市で開催されることは宝であり誇りでもあります。音楽祭を一人でも多くの方々に知って頂き応援して頂けるよう、微力ではありますが努めて参りたいと思います。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



きりしま友の会
副会長
瀬戸口 美希代
(国分在住)

〈百年の夢を思う〉

「霧島国際音楽祭」、実に素敵なネーミングだと思いませんか！100年目を迎えた時も、変わらず地域とそこで生活する人々が音楽祭を誇らしげに自慢できる、そんな霧島国際音楽祭が私の夢です！

— 山、海、川、そして豊富な温泉に恵まれた国立公園きりしまの地には、100年前に発祥したクラシック音楽祭の聖地は燦然と輝いています。霧島神宮駅から降り立つと「霧島国際音楽祭 100年祭」の看板が目の前に拵っています。緑豊かな街路樹には、色とりどりの小旗が風にゆれていて、私の心も何となくワクワクしてきます。街を歩くと「こんにちは！」と明るい声掛けに、この土地の人情が伝わってきます。音楽メディアのお店もたくさんあります。収集家のDVD店、アーティストのTシャツ・愛好家の小物店や手土産など、音楽を愛する人々がこの街の文化や経済を優しく育てています。カフェに入るとクラシック音楽が落ち着いた雰囲気癒してくれます。窓の外には、楽器を背負った受講生が演奏家を目指して歩いています。—
そんな風景を思い描きます。



きりしま友の会
副会長
内山 竹文
(隼人在住)

令和2年度活動報告

きりしま友の会では、令和2年度も霧島国際音楽祭を盛り上げるため、様々な事業に取り組みました。

コロナ禍により、実施できなかった事業や計画の変更がありましたが、ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

日時	内容	備考	参加人数
中止	ビュッフェパーティ	—	—
12月13日	クリスマスミニコンサート	会員特典	69人
1月5日	オープニングコンサートチケット助成	会員限定	31人
1月6日～8日	オープンレッスン無料見学	会員限定	3人
1月11日	ファイナルコンサートチケット助成	会員限定	10人
1月12日	霧島国際音楽祭 in 霧島市民会館 ニューイヤーコンサートチケット助成	会員限定	46人



クリスマスミニコンサート



ニューイヤーコンサート